

株式会社加藤建設

建設業界を変えるエコミーティング



エコミーティングを通して次世代へとつなぐ、 環境に配慮した建設を広めていく加藤建設

株式会社加藤建設では、2009年から自然環境配慮・地域住民配慮・コミュニティーづくりを目標に掲げた「エコミーティング」を実施している。このエコミーティングは、SDGsに向けて立案されたのではなく、幼少期に遊んだ日本の美しい自然の原風景を守りたいという会長の想いと、建設業のイメージ改革として活発に地域交流を進めていこうという強い志から始まった取組である。

エコミーティングは、建設現場における生態調査や保護活動、環境掲示板設置などの他、地域へ工事状況などを知らせる瓦版の配布や、地域のお祭への参加・体験学習イベントの開催など、地域の方々に工事現場を通じて、自然の豊かさや人々の豊かな暮らしに必要なインフラ整備を理解してもらうことを目的としている。

しかし発案当初は、建設業と自然は相容れないものというイメージから、社内で理解を得ることは容易ではなかった。その状況下で活路を開いたのは、愛知環境賞の銀賞受賞をはじめとした第三者による評価や、社内全体の自然環境に関する知識の獲得を目的としたビオトープ管理士の資格取得の推進、社員同士の相互理解を目指したコミュニケーションだった。

現在では、生物多様性アクション大賞で環境大臣賞を受賞するなど実績が評価されるとともに、全社的な環境配慮意識が向上したことで社員の半数以上がビオトープ管理士の資格を取得できたこともあり、エコミーティングに関し発注者ならびに同業他社からの問い合わせを受けるまでになった。「豊かな自然を守り、後世に伝えていく」という志が大きな力となり、建設業だからこそできる自然保護が全国の建設会社で推進される未来を描いている。

企業担当者の想い

エコミーティングを始めて12年、同業他社から活動について教えてほしいという問い合わせを受けるようになりました。社内にとどまらず、他社の活動をサポートする流れになってきています。エコミーティングのように環境に配慮した活動を行うことが業界のスタンダードになれば、SDGsの達成に貢献できるとともに、業界に対する環境破壊などのマイナスイメージの払拭につながると思います。そのため、これからもエコミーティングを建設業界に広げていきたいと考えています。

